やさしく　かしこく　たくましく

山本小学校だより

令和７年３月２４日
Ｎｏ．１４
文責　宮村　まり

３月２１日（金）　卒業生８人が山本小を巣立ちました

３月２１日（金）に卒業式を行いました。ぽかぽかした小春日和の春の日差しが射す日でした。

一年間、最上級生として、様々な場面で頑張り、リーダーとして活躍してきた８人の６年生です。今年は、式にも全学年参加することにしました。参加することになった在校生からは「やった！最後の日まで６年生と一緒にいて、送ることができる」という嬉しい反応が返ってきました。職員も同じ思いでいた。

今年度の６年生は８人という少人数だったので、学校のリーダーとして活動するにも役割がたくさんあり大変だったと思います。それでも、よりよい山本小学校にするためにととても頑張ってくれました。運動会では、各団に４人ずつの６年生ですが、もっと団員の気持ちを高めたいと、運動会直前に相談して、昼休みの放送で思いを伝えたこともありました。城ノ越太鼓にも熱心に取り組み、素晴らしい演奏を創り上げました。修学旅行では、平和について真剣な眼差しで考え、その姿勢を講師の方から褒めていただきました。休み時間は下学年と一緒にサッカーをして仲良く過ごしました。卒業間際には、在校生へのプレゼントとして、昼休みに「逃走中」を企画して、ハンター役と運営をしてくれました。みんなで協力し素敵な思い出と心に残る贈り物をたくさんくれました。

卒業式では、６年生が立派な態度を見せてくれて、在校生もそれに応えるように、みんなで心を込めて送りました。式後に、来賓の皆様から、「立派でしたね」「みんなが一生懸命言葉を言ったり歌ったりしていて心に響きました」という言葉をいただきました。

卒業生の皆さんには、今後も山本っ子の「やさしく　かしこく　たくましく」の精神で、新しく出会う人たちとも一緒に楽しく充実した日々を過ごしてほしいと願っています。

卒業生の保護者の皆様の思いも伝わってきました

お子様の小学校卒業は、保護者の方にとっても、本当に大きな喜びであると思います。学校の中で一番長い６年間です。また、山本小のように少人数の学校では、全員のお子さんの名前と顔もご存じで、我が子でなくても、半分家族のような気持ちで接してくださる様子をよく目にします。６年生も、恥ずかしくて普段は、なかなか「ありがとう」と言えないことも多いかと思いますが、卒業式には、きちんと一人一人保護者の皆さんに、感謝の言葉を伝えることができました。その言葉を聴いたり、堂々とした姿を見守ったりする保護者の皆様の嬉しそうな表情や感動の涙を流される様子を見ていると、これまで子育てを頑張られてきた保護者の皆様に、大きな敬意を表しますとともに、胸がジーンとしてきました。６年生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。そして、６年間学校への惜しみないご支援、ありがとうございました！